

2017年7-9月期 転職時の賃金変動状況

「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は29.9%
前年同期比1.7ポイント上昇

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林大三）が提供する転職支援サービス『リクルートエージェント』における2017年7-9月期の「転職時の賃金変動状況」を報告します。
「転職時の賃金変動状況」では、“転職決定者の賃金は転職前後でどのように変化しているのか”という点に着目し、「前職と比べ賃金が明確に（1割以上）増加した転職決定者数の割合」の経年変化を観察していきます。

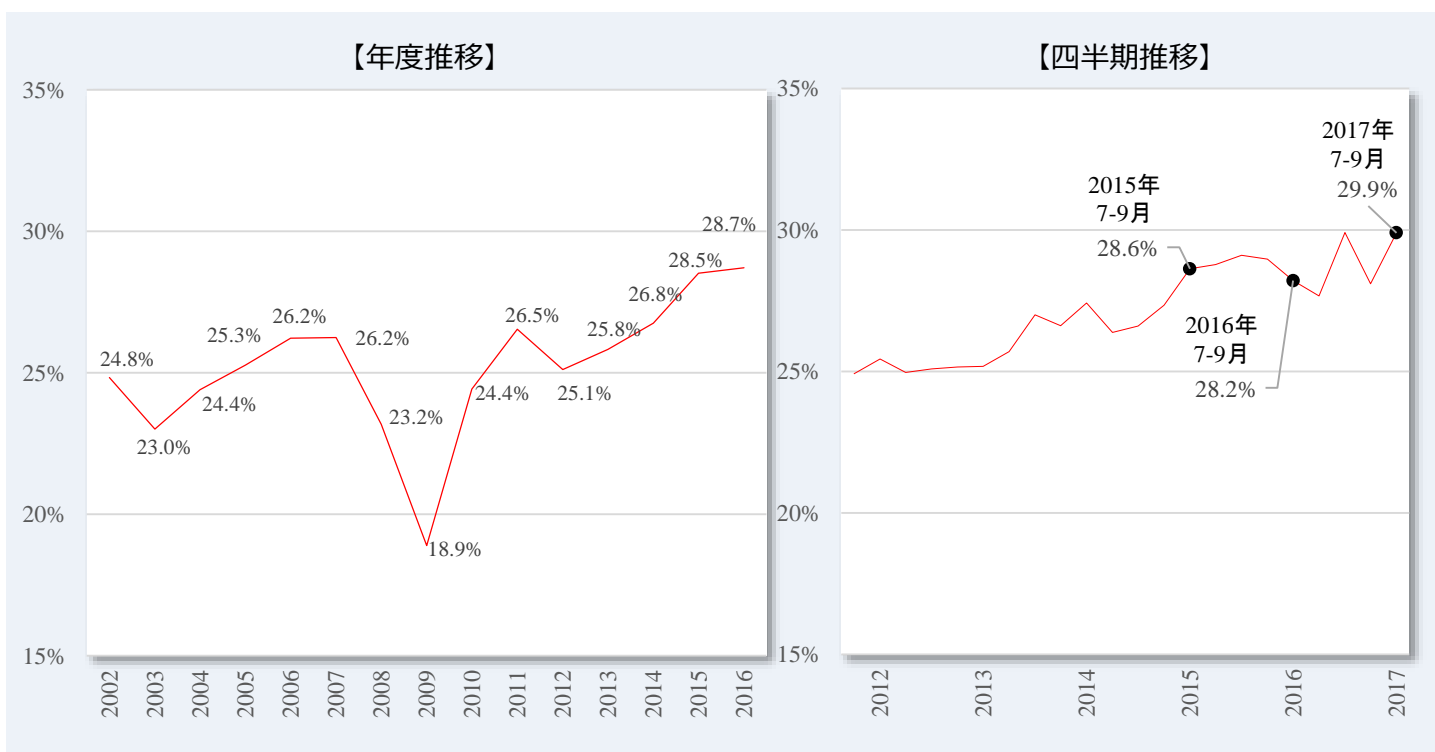
【算出式】

$$\frac{\text{「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数」}}{\text{「転職決定者数合計」}} \times 100 \text{（単位：％）}$$

※ 前職（転職前）の賃金は時間外労働等の「変動する割増賃金」を含む一方、転職後の賃金にはそれらが含まれないため「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は実態よりも低めの値となる傾向があります。

■全体

- 7-9月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は29.9%。
 - 2013年度以降、長期的には上昇基調が続いており、2017年7-9月期は前年同期比1.7ポイント上昇。



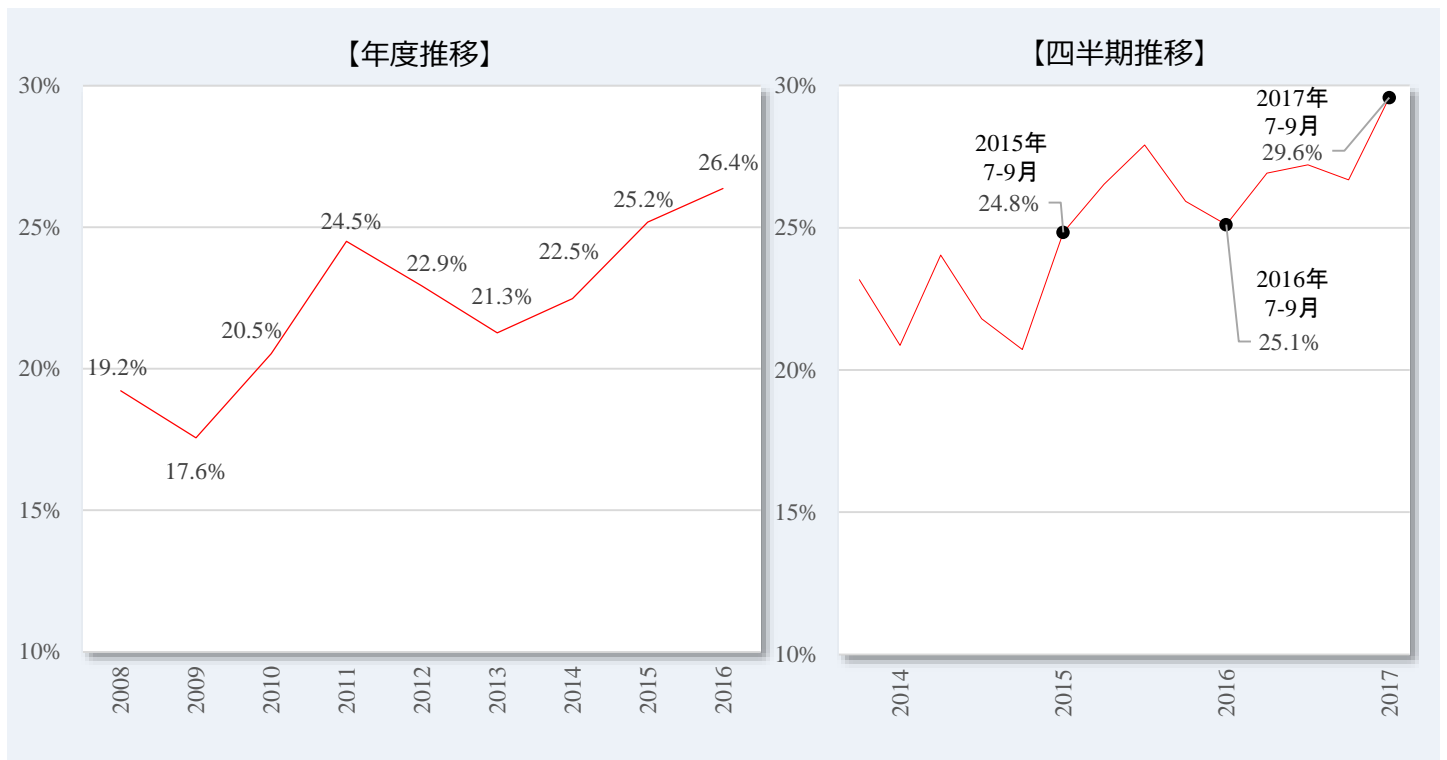
【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL: 03-3211-7117 Mail: kouho@waku-2.com

リクルートキャリアではこれからもひとりひとりにあった「まだ、ここいない、出会い。」を届けることを目指していきます。

■ 職種別

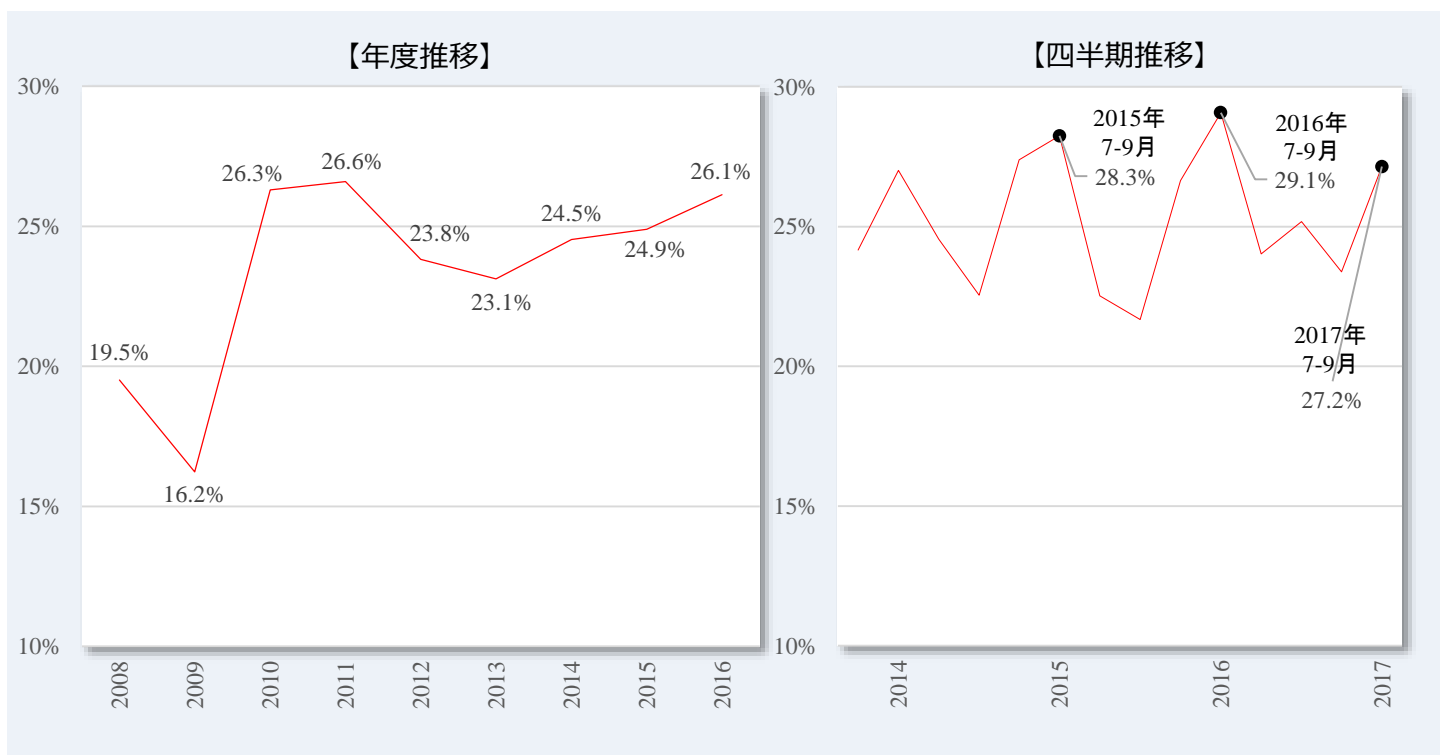
● IT系エンジニア：7-9月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は29.6%。

－ 2014年度以降上昇基調が続いており、2017年7-9月期は前年同期比4.5ポイント上昇。



● 機械・電気・化学エンジニア：7-9月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は27.2%。

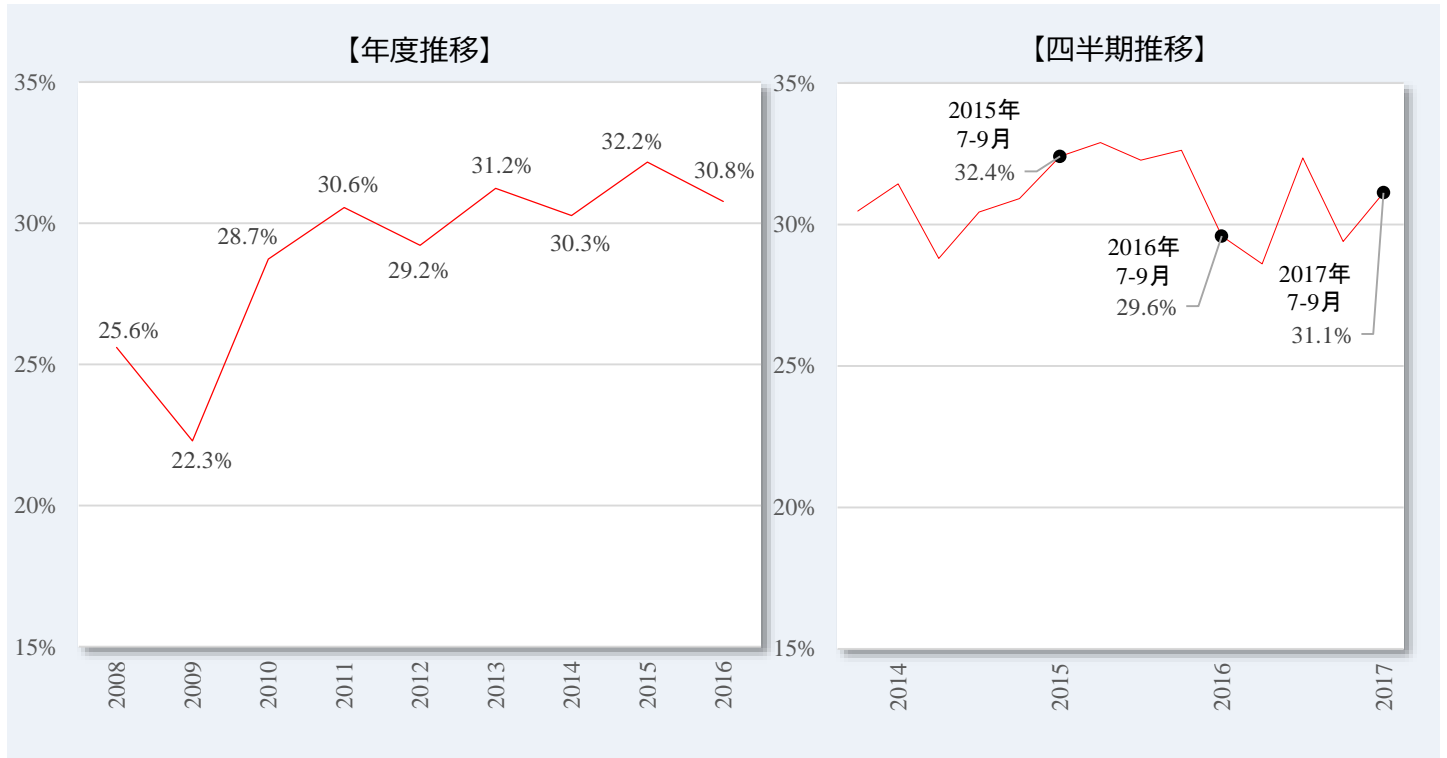
－ 2014年度以降は緩やかな上昇を続けていたが、2017年度7-9月期は前年同期比1.9ポイント低下。



■ 職種別

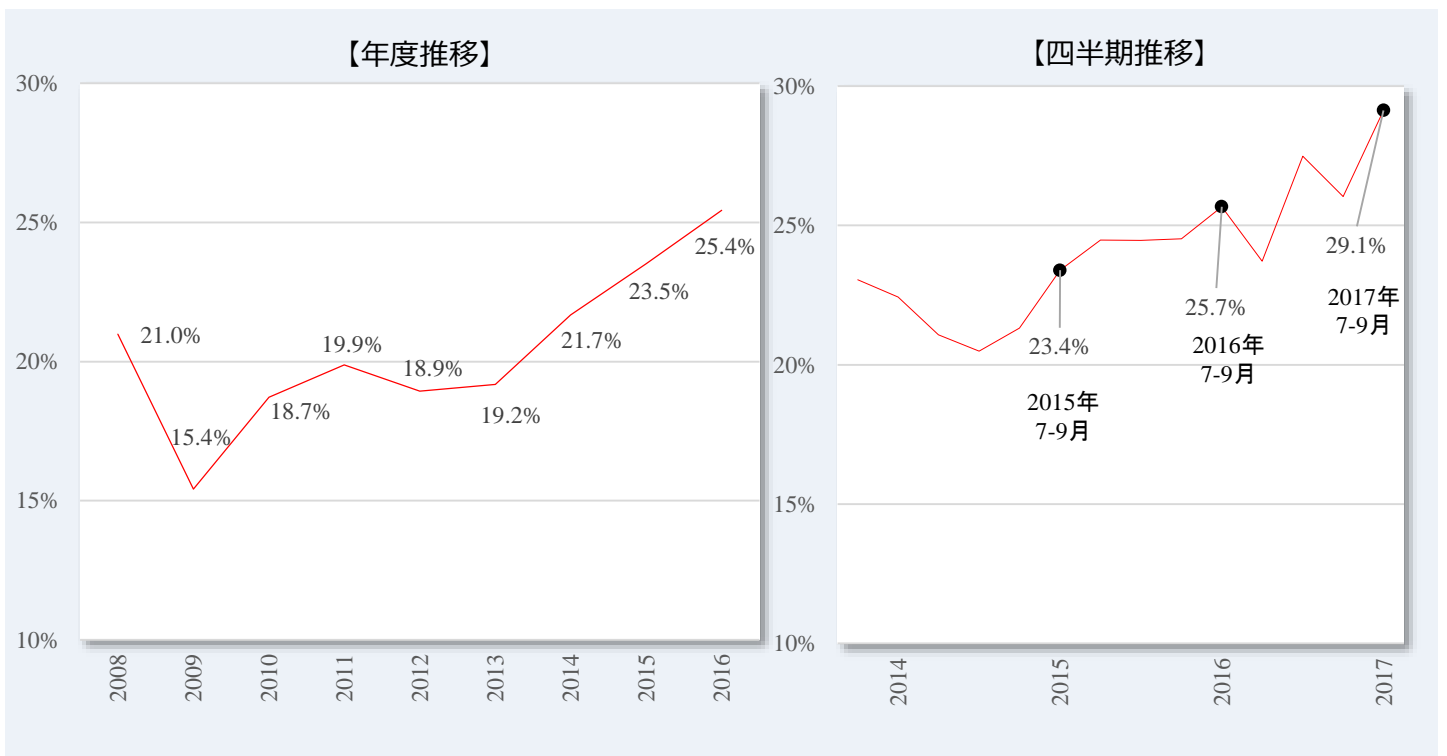
● 営業職：7-9月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は31.1%。

- 2011年度以降は、振れを伴いつつも緩やかな上昇が続いており、2017年度7-9月期は前年同期比1.5ポイント上昇。



● 事務系専門職：7-9月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は29.1%。

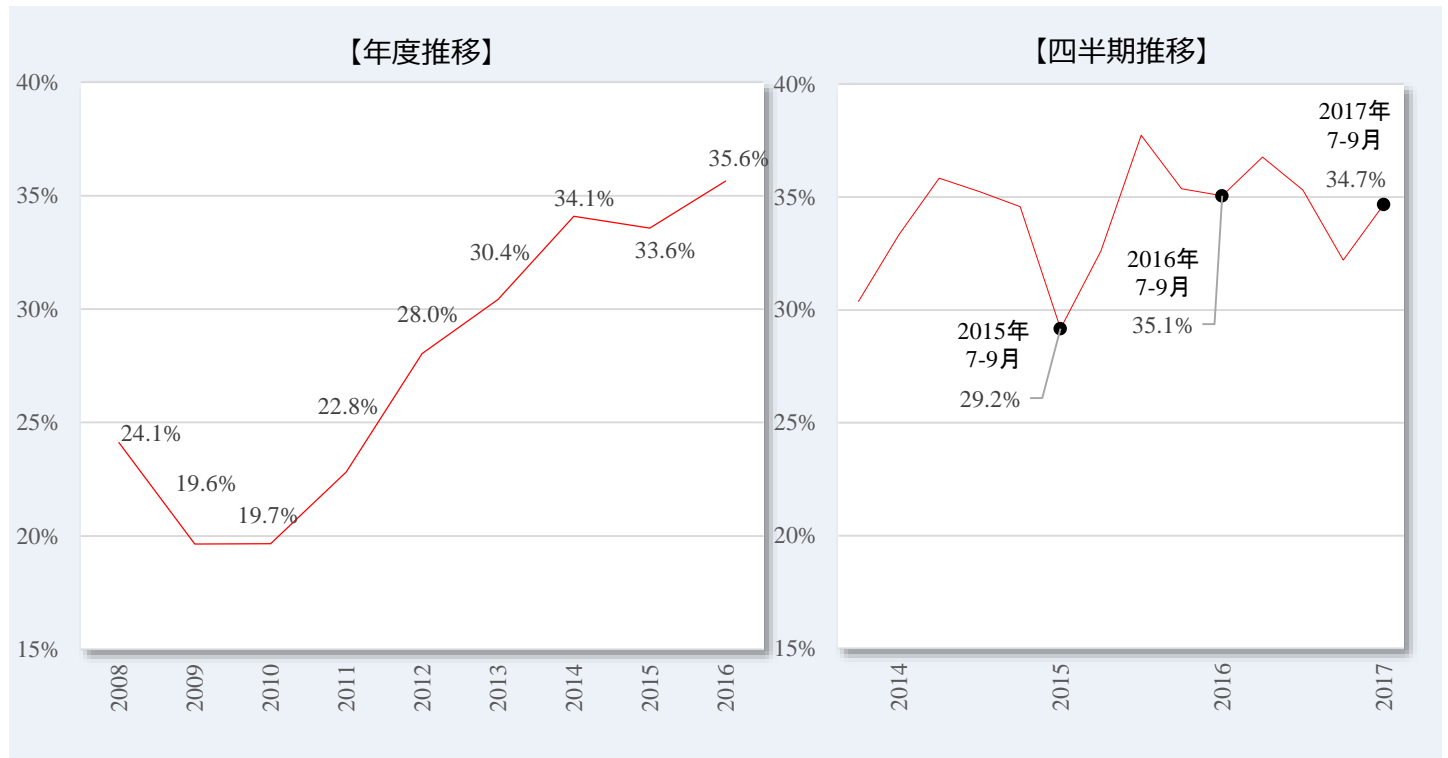
- 2014年度以降上昇基調が続いており、2017年7-9月期は前年同期比3.4ポイント上昇。



■ 職種別

- **接客・販売・店長・コールセンター：7-9月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は34.7%。**

－ 2011年度以降上昇基調が続いていたが、2017年度7-9月期は前年同期比0.4ポイント低下。



免責事項：

掲載されている数値は、転職支援サービス「リクルートエージェント」のデータをもとに、リクルートキャリアが独自に算出したものです。情報の内容の正確性については万全を期しておりますが、その時点での提供可能な情報であり、その正確性を保証いたしかねますこと、あらかじめご了承ください。またシステムにおける障害の発生、システムのメンテナンス等のため、情報提供を一時的に停止する場合があります。

■ 職種分類対応表

リクルートキャリアが毎月公表している「転職求人倍率」における職種分類と「転職時の賃金変動状況（当資料）」における職種分類は以下の通り対応しています。

